

SASEBO de ENGLISH

市内の名物や名所を題材に、普段の生活の中で使える簡単な日常英会話をお知らせします。今回は「いろいろ体験」を題材にした会話です。



- Emily I saw it for the first time.
(初めて見たわ)
- Nahoko This is Irori.
(いろいろっていうのよ)
- Emily It's like a fireplace.
(暖炉みたいね)
- Nahoko Yes. I also use it for baking and cooking.
(焼いたり料理に使ったりするのよ)
- Emily It's fun to eat like this.
(こうやって食事をするのは楽しいね)



広報テレビ番組「キラっ都させば」放送スケジュール
第1土曜 NBC 9:25～9:30 KTN 11:45～11:50
第2土曜 NCC 16:25～16:30 第2日曜 NIB 6:30～6:35
第3土曜 NBC 9:25～9:30 KTN 11:45～11:50
第4土曜 NCC 16:25～16:30 第4日曜 NIB 6:30～6:35
毎週日曜 TVS 18:55～19:00
※上記内容を1カ月先行して放送しています。
※「キラっ都させば」と文字情報の「させば市政だより」は週
替わりで放送しています。
※YouTube版はこちらからどうぞ。



アスパラガス



アスパラガスは、佐世保の北部・南部の幅広い地域で栽培されています。冷涼な環境の下で、じっくりと生育することで、緑色が鮮やかで、穂先が締まった高品質なアスパラガスとなります。

栽培には良質な堆肥を投入するなど土作りにもこだわりを持ち、消費者の皆さんに安全に安心して食べていただけるよう、化学肥料をなるべく使わない栽培が実践されています。

アスパラガスは春(2～4月)と夏(6～10月)の年に2回収穫が行われ、春は冬の間に根部分に糖として蓄えられた養分だけで芽を出す「甘いアスパラガス」、夏は育てられた親茎の光合成活動によって一気に伸びる「柔らかいアスパラガス」と呼ばれています。

収穫期の終わり頃、数本のアスパラガスを収穫せず伸ばすことで、ビニールハウスいっばいに擬葉と呼ばれる細い茎が広がります。その後、擬葉によって光合成を行い、鱗芽(地下の茎に作られる芽)に栄養をため、冬の間に根が休眠期に入り、また春に元気な芽を出すといったサイクルを繰り返しています。

アスパラガスはさまざまな料理で家庭の食卓を彩りますので、どうぞこの機会にお召し上がりください。

📍農業畜産課 ☎24-1111

人の動き(2月1日現在)

- 総人口 239,649人(前月比-322人)
男性 113,662人(-186人)、女性 125,987人(-136人)
- 世帯数 104,344世帯(前月比-133世帯)
- 1月中の動き
転入 419人、転出 513人、出生 152人、死亡 380人

「日本一の修繕ヤード」を目指して、SSKの新たな出発



令和4年1月12日(水)、佐世保重工業株式会社(SSK)立神蛇島南岸壁において、最終建造船「トールミ」(ギリシャ語で勇気の意味)の命名式が華やかに執り

行われました。

SSKは昭和21(1946)年に旧海軍工廠の施設を借り受け「佐世保船舶工業」として設立され、昭和28(1953)年に初めて進水したタンカー「永邦丸」の建造を皮切りに、68年間で510隻の新造船が建造されました。昭和37(1962)年には、当時世界最大の13万t級タンカー「日章丸」が建造され、SSKの高い技術力がたたえられるとともに、全世界のマンモスタンカーブーム到来の引き金となりました。

当時、私は中学2年生でしたが、知り合いのSSK社員の方に見学券をいただいて日章丸に乗船することができ、その巨大さに驚き、感動したことを今でも覚えています。

そのSSKが510隻目で新造船建造にピリオドを打たれたのは、世界経済や造船業界の激しい流れの中で致し方ないこととはいえ、大変寂しく残念なことでした。

しかし、命名式終了後に新造船建造用の第4ドックを艦艇修繕用ドックへと改修するための改修工事起工式が執り行われ、SSKが事業再構築計画のスタートを切られたことは、大変喜ばしいことです。

この第4ドックの改修工事が本年9月に完成すれば、第3ドックと併せて国内最大級の大型修繕ドックを2基持つことになり、また、第1・第5・第6のタイプが異なる3つのドックに加えて、総延長1,200mの岸壁を保有されることとなります。

徳育通信 119

聞いて「徳」する話 80 行動に移せる優しさ

私が友人と出掛けたときの話です。

見るからに重そうなスーパーのレジ袋を手に提げて、横断歩道をゆっくりと歩いている高齢の女性がいました。信号が赤に変わる前に渡りきれぬか心配で、私たちはその女性の様子を見守っていました。

信号が点滅し始め、他の歩行者はすでに渡りきっていましたが、女性は半分を過ぎた辺りでした。私は不安な気持ちを抱きつつ、どうしたらよいか分からずにいました。

その時です。20代くらいの男性が女性に駆け寄り、女性に声を掛け、さっとレジ袋を受け取って歩行を手助けしたのです。女性は無事に横断歩道を渡りきることができました。



ドック入りする飛鳥II

佐世保重工業株式会社の名村建介社長は、起工式のあいさつで「国防上、重要な基地造船所という地の利に加えて、設備面でも明らかに優位性があります。この強みを生かして、主力となる自衛艦の修理や海上保安庁船、米海軍艦船の工事、また、現在第3ドックで定期点検・修繕工事中の『飛鳥II』などのクルーズ船や一般商船の修理にも積極的に取り組み、さらには、今後需要が見込まれるLNG(液化天然ガス)運搬船などの修理工事にもチャレンジして『日本一の修繕ヤード』を目指していきます」と力強く述べられました。

佐世保市は、これまで本市造船業の中核として地域経済をけん引してこられた佐世保重工業をさまざまな局面で応援してまいりました。新造船の建造は当面休止されますが、「日本一の修繕ヤード」として、日本船はもとより世界各国の船舶で佐世保港がにぎわうように、市民の皆さまと共に応援してまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

佐世保市長 朝長 則男

私は、ほっとすると同時に、すぐさま行動に移せた男性の優しさに感動し、自分もそうなりたと思いました。

(学生：匿名希望)

「聞いて徳する話」募集中
身の回りで見つけた「聞いて「徳」する話」を募集中です。応募用紙は事務局で配布しており、市ホームページからもダウンロードできます。

📍佐世保徳育推進会議 ☎23-2856